



35 創立：1984.7.10 / 証認：1984.8.6 国際ロータリー第2660地区 大阪鶴見ロータリークラブ会報

事務所：〒534-0026 大阪市都島区網嶋町9番10号 太閤園内
電話：06-6357-8171 ファックス：06-6357-8011
例会日：毎週火曜日 12時30分 / 例会場：太閤園
会長：山本隆一 / 幹事：源壽美子 / SAA：山崎修一
電子メール：rcosatrm@cf.mbn.or.jp
ホームページ：http://rc-osaka-tsurumi.jp/



インスピレーションになろう

本日の例会

〈第1599回〉 2018年7月24日(火) 本年度第3回

卓話

映画「サムライと愚か者 オリンパス事件の全貌」について
講師：山本 兵衛 氏

担当：須田会員

- ロータリーソング
奉仕の理想
- ランチタイムミュージック
海

次回の例会

7月31日(火)

次回卓話

第1回 出席強化イベント例会
私の走ってきた道、これから歩いていく道

担当：山崎会員

前回の報告

PRESIDENT INFORMATION

会長インフォメーション 会長：山本隆一

二宮尊徳が実践した、
報徳を以ってロータリーを理解する① 報徳

前回の会長インフォメーションで、二宮尊徳が実践した、報徳を通してロータリーへの理解を深めたいと申し上げましたが、今日はその1回目です。今回のテーマは報徳です。まず、報徳とは「徳に報いる」ことであり、徳と聞くと、何か崇高なものをイメージしますが、尊徳の徳に対する考え方とは至ってシンプルなものです。それは、私達の身の回りにあるものをはじめとして、自然界、人間界を問わず、全てのものには、それぞれに長所があり、価値が備わっているというものです。そして、尊徳は、その長所・価値を徳と定義しました。また、報いるとは、徳に感謝し、よく働いて、それぞれの徳の長所を伸ばし、価値を高めて社会に貢献するという意味です。

徳……………元来、全てのものに備わっている、それぞれの長所・価値
報いる……………徳に感謝し、それぞれの徳の長所を伸ばし、価値を高めること

例として、本クラブの薩摩芋プロジェクトを考えます。薩摩芋を栽培、収穫するプロセスを細分化してみると、様々なコト・モノ、すなわち、徳で成り立っていることが判ります。

- ① 土、水、太陽、天候の長所・価値……………自然界の徳
- ② 苗、肥料、道具の長所・価値……………物質面の徳
- ③ 苗付け、水やり、肥料やり、草むしり、つる返し、芋掘り……………人が働くという徳

報徳の理念から薩摩芋の生育を解釈すると次のようになります。自然、物質、人、それぞれの特長を生かし、価値を高める努力をした結果、全ての価値が融合し、何もない所から薩摩芋が出来上がると解釈するのです。報徳の本質とは、単に栽培するのではなく、自然を生かし、素材を生かし、栽培方法を最適化することで収穫量を増やす、芋の品質を高める、すなわち、付加価値を高めることです。これは元々、農民に向けた指導法だったのですが、現代の産業、社会、企業、家庭にも当てはまる普遍的なものだと思います。これをロータリーに置き換えると、本クラブには本クラブの良さがあり、会員一人一人にそれぞれ良さがあるということです。私達は、クラブの良さに着目し、その良さを伸ばす努力をしてクラブの価値を高める、これが報徳の理念からみたクラブの在り方だと思います。また、奉仕においても、例えば、区民祭であれば、区民や地域の子供達にとっての価値向上を最優先し、喜んでもらうことが奉仕の目的だと思います。ロータリーの綱領には「あらゆる職業は尊重されるべき」とありますが、これも、あらゆる職業には、それぞれに価値がある。そして、我々は、その職業がもた

(2ページへ続く)

インスピレーションになろう

大阪鶴見ロータリークラブテーマ「もっとエモーショナルなクラブへ」

(1ページより)

らす恩恵に感謝し、その恩恵に報いるべく、自分の職業の価値を高めて社会に奉仕すべきであると解釈できると思います。更に、尊徳流に解釈すれば、社会はあらゆる職業が融合して成立しており、自分が生存できるのは、そのおかげであり、その分、自分の職業を通して社会に貢献すべきということだと思います。

幹事報告

幹事:源 壽美子

- 7月10日(火) クラブ創立34周年記念日
17日(火) 休会
20日(金) 第1回炉辺会合 京阪シティーモール屋上 18:30スタート
24日(火) クラブフォーラム クラブ奉仕部門

😊 NIKONIKO箱 😊

¥8,000.- 累計 ¥78,000.-

水間会員 交野RCの伊藤様、ようこそお越し下さいました。35周年で交野カントリー倶楽部貸切りとのこと、お元気なクラブで羨ましい限りです。ゴルフ会の盛会をお祈りいたします。

中村会員 本日卓話です。皆さん、ゆっくりおやすみ下さい。

濃添会員 山本さん、源さん、新執行部の皆様宜しくお願い致します。

社会奉仕委員会報告

委員長:中村浩一

9月9日(日)開催の鶴見区民祭りの実行委員会を組織いたしました。ご協力宜しくお願い致します。当日の担当につきましては後日担当割を作成いたします。

7月24日(火)例会終了後、鶴見区民祭り実行委員会を開催いたしますので実行委員の方はご出席を宜しくお願い致します。

7月28日(土)さつまいもプロジェクト 除草・つる返し作業への参加を宜しくお願い致します。13:00集合 13:30より作業 約1時間

災害支援PJ委員会報告

委員長:鳥居和久

「平成30年7月豪雨の義捐金について」

平成30年7月5日から西日本を中心に発生した集中豪雨は、各地で土砂崩れや浸水など甚大な被害をもたらしました。当クラブと致しましても皆様のご理解と御協力のもと義捐金を募り、第2660地区を通じて被災地区に義捐金をお届けしたいと思います。

7月の例会時に義捐金箱をお回しいたしますので、よろしくご協力くださいますようお願い申し上げます。

災害支援プロジェクト

5月分ライトミール	¥16,000.-
6月分ライトミール	¥22,000.-
災害支援金 7/10	¥32,000.-
	累計: ¥787,422.-

米山奨学委員会報告

委員長:笛吹明男

米山奨学生学友会(関西)総会出席報告

7月8日(日)17時大阪市中央区KKRホテル大阪にて2660地区2018-2019年度米山総会および新規奨学生歓迎会が約200名の参加のもとに開かれました。

私は、鶴見ロータリークラブ米山奨学金委員長として総会に初めて出席しましたが、新規奨学生のレベルが極めて高いこと、また、奨学生OBが優秀で各方面で活躍している事に強い印象を受けました。米国においては、海外から受け入れた留学生人材が卒業後もアメリカに残り発展に貢献しています。少子高齢化により人口減少が急速に進む続く我が国においても、我が国を第二の祖国と感じるような優秀な留学生が、日本を拠点に家族とともに活躍する時代を迎えることが不可欠と思います。今年度も米山奨学金への寄付を宜しくお願いします。

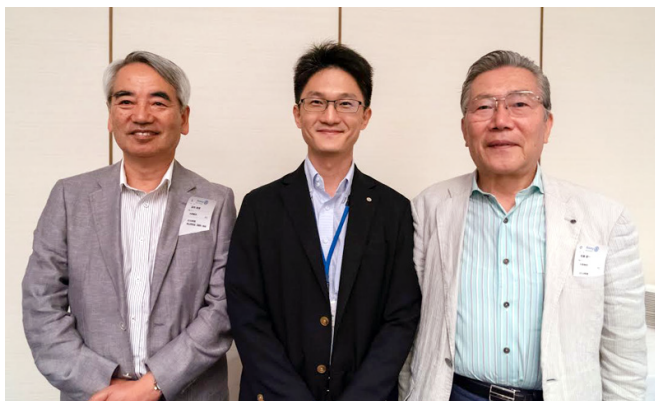
米山奨学友会総会に元米山奨学生
林士弘君が出席してくれました。
～林君からのメールのご紹介～

ご無沙汰しております、毎日暑いですが、お元気ですか。
写真ありがとうございます。
この間の大地震ですが、皆様が無事でいらした事を伺い、安心しました。

こちらは、東京に来てから、早いもので、一年経ちました。日本の社会でなお学ぶべきことが多く、精進してまいります。

先日、総会で佐藤さんと笛吹さんとお会いでき、嬉しかったです。また皆様とお会いできる日を楽しみにしております。

林 士弘



大阪鶴見RC国際交流基金

¥3,000.-

累計 ¥12000.-

笛吹会員 大洪水で各地で多くの命が失われたことにお悔やみ申し上げます。

初めての留学生受け入れについて 森のリ子ホストファミリー

ソニアのホストファミリーと決まってから私がしたことは、家の掃除でした。初めての受け入れに、他に思い付くことがなかったのです。

もともと夫が留学生受け入れに興味があり、近隣の大学主催のホストファミリー説明会に参加したこともありましたが、テレビなし・エアコンなし・Wi-Fiなし・車なし・空いてる部屋は四畳半・私は英語が話せない、の我が家は受け入れには向いてない環境と半ば他人事でした。なので、ソニアの滞在が本当に決まった時は、本当にここでよかったのかしらと申し訳ない気持ちでいっぱいでした。

初対面でのソニアはとて大人びて見えました。滞在一日目に接した感じでは、ソニアも緊張し慣れない言葉でコミュニケーションしようとするけどなかなか続かず気まずい間ができ困っている、その姿は普通の日本の15歳の女の子と同じようでした。家をでて一人で言葉の通じない初めて会う人々の輪にはいつて暮らす。交換留学ですから当たり前のことですが、我が子が同じように異国の地で暮らすことを想像すると、日本語上達を応援するより安心できる場所作りをすればよいかしらと思い、そうやっていこうと決めました。と立派に聞こえますが、それしか出来なかったというのが本当のところでした。

英語の話せない私と日本語の聞き取りには慣れてきたけど言葉が出ないソニア、辞書にメモ用紙必須の日々が始まりました。幸い彼女の食事のマナーがとてもよく、出したものなんでも食べてくれたのでありがたかったです。なにせ私が英語がしゃべれないので、病気になり病院事になったらどうしようかばかり考えてました。せっかくの日本、あちこち観光に体験にとも思いましたが、背伸びしたところでロータリー会員の皆様と同じように出来るはずも無く、ありのままの一般家庭を体験してもらおうと背伸びはやめました。なので、一緒に行くところは地元のお祭りや子供の習い事、娘の幼稚園行事に特別参加させてもらうとういうような日々でした。行事に関しましてはお正月明けと時期がよかったです。家でもとんどやお餅つきにお雛様と、少しは日本らしい行事に接してもらえたのではと思います。また週末は会員の皆様のご好意に甘えてソニアをお願いすることもありました。その中でも15歳女子にとってなにより印象に残ったことは着物を着ての撮影だったのではと思います。子供の記念行事時には

写真を撮っているのですが、今年は娘の七五三にあたり、前撮りにしてソニアにも写真に入ってもらいました。その節はロータリーの皆様にソニアの費用を援助いただき、ありがとうございました。おかげさまで彼女にとっても我が家にとってもとても楽しい思い出となりました。

ソニアが居た時は7歳の娘が彼女にべったりだったのですが、ソニアが帰国した今恋しがってるのは9歳の息子のほうです。折に触れ、ソニアは今アメリカで何をしているのかと話しております。ちょうど帰国まえに七夕の笹飾りが出始め、皆で短冊を書く機会がありました。ソニアは「日本に戻ってきます」と書き、息子は「ソニアがまた来ますように」と願いを書いていました。ホストファミリーを体験するにあたって子供にとってもいい体験になるとよく聞きますが、本当にその通りだと思いました。もちろん英語がペラペラになるわけでもなく自分も留学したいなどはつゆ思っていないのですが、自分と違う世界の人をまるごと受け入れ一緒に暮らす体験は、いつか彼らの人生でそして私の人生においてもよいヒントになるのではと思います。この度はよい機会をありがとうございました。

森のリ子



卓話

二度目のイニシエーションスピーチ

担当: 中村会員

大阪鶴見ロータリークラブに入会させて頂いて3年が過ぎ私より先輩はチャーターメンバーを含め4名になってしまいました。入会したとき39歳だった私も71歳になりました。そこで2回目のイニシエーションスピーチをさせて頂くことに致しました。現在は67歳の女房と40歳の長男夫婦、37歳の次男夫婦と孫が3.5人のかぞくです。二人の息子は弊社に勤務しております。周りの方は後継ぎが二人もいていいねと言って下さいますが、別にいいわけでもありません。まあ何とか仲良くやってくれればと思っております。私の会社はガラス瓶、プラスチック容器を販売する商社、西部株式会社と申します。1944年(昭和19年)に5社の企業統合によりできた会社で、今期75期になります。世の中の変化とともに、扱う容器もずいぶん変わってまいりまし

(4ページへ続く)

(3ページより)

た。弊社は以前、西部硝子株式会社と申しており、ガラス瓶の扱いが80～90%でしたが、最近では逆転しガラス以外のプラスチック容器等が80%～90%、ガラス瓶が10～20%になりました。

環境問題等を考えますと3R(リユース、リデュース、リサイクル)に適しているガラス瓶が良いのは当然ですが、重い、割れる等の問題があります。硝子は薄くして強化するくらいしかありませんが、プラスチックは研究されて良いもの、新しい素材が出来ます。しかし硝子は土に帰りますが、プラスチックは自然分解しません。最近新たにプラスチック汚染が地球環境問題になっております。ペットボトル、レジ袋、プラスチックストロー等われわれの深く関わりのあるプラスチックごみが海を汚染している問題です。最近の新聞にはシアトルでプラスチックストローの使用禁止の記事が出ておりました。また昨日、我々の姉妹クラブのある台湾で台湾当局が6月に打ち立てたプラスチックストローを使用禁止にする規制案が波紋を呼んでいます。つぶつぶが入った台湾名物のタピオカミルクティをどうして飲むのかという「タピオカ論争」が勃発しているようです。今日、例会に来るに途中、スターバックスがプラスチックストローを世界にある28,000全店で2020年までに使用をやめるというニュースを聴きました。

プラスチック製品は世界で年間3億トン以上が生産され、約800万トンがごみとして流出していると推定されています。海岸や海中で、紫外線や風、波の力で大きなプラスチック破片がだんだん小さくなり5ミリ以下のマイクロプラスチックになります。コンビニ、スーパーでもらう1枚のレジ袋から数千個のマイクロプラスチックが出来ると言われております。おおきさは1ミリ以下から非常に細くなりその数はどんどん増えていきます。

プラスチックは自然分解しないため、海に蓄積され、海流に乗って世界中に広がっていきます。従って「国境のない汚染」と言われています。このままだと2050年には海にいる魚の重量よりプラスチックの重量が多くなると言われております。地球温暖化問題に並ぶ、新たな地球規模の課題になりつつあります。以前に自然分解するバイオプラスチックの話を致しましたが、環境に良いのは分かっているにもかかわらず大量生産についてもまた価格についても需要に対応できないのが現状です。ハワイにも大量のプラスチックごみが流れ着いていますが、日本から流れ着いたものが一番多かったという調査結果もあるようです。欧米の最新研究では太平洋上の「ごみだまり」は面積160万平方キロメートル、日本国土の4倍以上に達しているようです。世界3位のプラスチック廃棄物出国でもある日本周辺の海域は世界平均の27倍もの汚染が確認されているようです。世界ではプラスチック排除を実現したイギリスの自治体があります。プラスチックのゴミの出ない街ペンザンス。また英国王室もバッキンガム宮殿内のカフェでプラスチックストローなどの使用を段階的に禁止しているようです。またケニアでは昨年8月からレジ袋が禁止され、使用した場合、最長で禁固4年かおよそ430万円罰金が科せられるようになりました。

日本では年間30億枚のレジ袋が使用されておりますが、レジ袋の禁止、有料化などの義務つける制度はまだありません。

海に囲まれた海洋国家である日本は、この新たな地球環境課題でリーダーシップをとれるのか、国内で効率的な制度を整えることが出来るのか、そして私たち一人一人も暮らしの中で、この問題に向き合うことが問われております。こんなことを考えますと、私の商売も先が見えない、先が読めない難しいところがあると思われ、世の中の変化・要求にどう対応していくかが問われると思います。



出席報告		7月10日【1598回】	
会員数	34名	ビジター	1名
(内出席規定免除)	9名	ゲスト	0名
出席会員	24名中 19名	出席総数	27名
出席免除会員	10名中 7名	前々回	6/26 M/U 1名
出席率	26/31 83.87%	修正出席率	77.42%



本日のロータリーソング

奉仕の理想

奉仕の理想に集いし友よ
 御国に捧げん我等の業
 望むは世界の久遠の平和
 めぐる歯車いや輝きて
 永遠に栄えよ 我等のロータリー

Rotary 
www.rotary.info

担当:佐藤会員